



・・・相武台地区・・・

相武台地区は、大規模な集合住宅が多いため、区内で最も人口密度の高い地区です。ふるさとまつり、盆踊り大会、どんど焼きに加え、相武台芸術祭など、地域の方々が触れ合うことのできる場づくりが地域の人々の協力により実施されています。

相武台地区優秀賞



【撮影者】納谷 フサ子

【タイトル】シンメトリー

【撮影場所】新磯野

【コメント】何時もの散歩時に大樹桜があり、調和のとれた美しさに出会える春の楽しみです。

○審査員寸評○

散歩の途中にモチーフを発見されたようです。学校の敷地と拝見しました。なるほどタイトルどおり桜の木はシンメトリーですね。良いところに気付きました。寄り添う景観は、生徒さんたちの絆をも感じさせてくれます。空の青、白い雲を取り込み全体を爽やかな雰囲気仕上げたところが特徴です。

【撮影者】坂上 和正

【タイトル】いっぱい遊びたいね

【撮影場所】相武台小学校

【コメント】2020年日本に侵入したコロナは在宅勤務や臨時休校やら大変でした。それが今年で3年目。学校では「密にならないよう順番を決めて校庭を使っています」と先生も大変。

春が来てもジャングル事務がポツンと寂しそう。一日も早く、元気いっぱい校庭を自由に走り廻る子供の姿を見られますよう!!



「第10回 南区私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】小山 仁

【タイトル】夜の始まり

【撮影場所】相模原市南区新磯野 4-1-3
相武台まちづくりセンター グラウンド

【コメント】夕陽を眺め、時間が進み、夕陽よりも木や葉の暗さの方に視点が切り替わった時に写真を取りました。

【撮影者】吉富 明徳

【タイトル】新磯野のモミジバフウの幻想的な紅葉

【撮影場所】新磯野三丁目の緑台小学校から新磯野西公園の道

【コメント】相模原市南区新磯野三丁目の緑台小学校から新磯野西公園の道に街路樹として100本近く植栽されている「モミジバフウ」の並木がある。今の時期になると赤や黄にオレンジの幻想的なグラデーションとなって相武台唯一の紅葉の世界へ誘ってくれます。



【撮影者】石井 敬一郎

【タイトル】満開

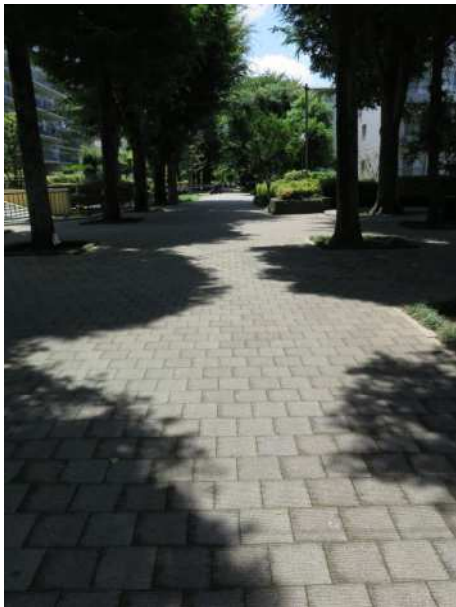
【撮影場所】相模原市南区新磯野4 グリーンパーク
緑道脇遊水地

【コメント】小学校の裏手に遊水池がある。その畔は歳月を経て大木となった桜が取り囲んでおり、水が溜まっていれば花筏も見られる恰好のお花見場所である。今年もまた満開となり、地元民が三々五々足を運んでいた。春到来の喜びを胸に、桜に感謝を込めて撮った一枚である。





【撮影者】石井 敬一郎
【タイトル】緑道の春
【撮影場所】相模原市南区新磯野4 グリーンパーク緑道
【コメント】まだ花が少ない早春に、この緑道は梅の香りに包まれる。陽気に誘われて子ども達が外で遊び始め、大人はお出かけを急ぐ。紅春はそんな地元民を芳香で包み、緑道に春の訪れを告げていた。



【撮影者】納谷 フサ子
【タイトル】わが居住地
【撮影場所】新磯野
【コメント】深き緑の緑道に突如現れた大河の流れ、陰影の面白さを撮りました

【撮影者】加藤 昌位
【タイトル】秋晴れ木漏れ日散歩道
【撮影場所】そあら前の歩道(相武台地区)
【コメント】気持ちの良い秋晴れの朝日、色付きはじめた木々の木漏れ日を撮影しました。





【撮影者】長谷川 栄一
【タイトル】春だね～
【撮影場所】新磯野4丁目看護専門学校
側道
【コメント】看護専門学校の側道より相
武台グリーンパークを見た時
花桃やさくらが満開で、春だね～と、自
然に感じてくる時の風景です。

【撮影者】齋藤 淳
【タイトル】桜の花びらアート
【撮影場所】新磯野公園
【コメント】春の「新磯野公園」や隣の「図書館相武
台分館」を訪れる人々を楽しませてくれた「桜」。
もう「桜」は散ってしまったと思ったら、再び人々を楽
しませるために、今度は、地面に「花びらアート」描い
てくれているではありませんか・・・
出勤途中の春の出来事に季節の移り変わりを感じたひ
とときでした。



【撮影者】齋藤 淳
【タイトル】秋の深まりを感じて
【撮影場所】新磯野公園
【コメント】夏の「新磯野公園」や隣の「図書館相武
台分館」を訪れる人々に木陰をつくり、ひとときの「涼」
もたらしてくれた「葉っぱたち」。秋になり色づき紅葉
も楽しませてくれた。そして落葉(らくよう)。
落ち葉になっても「葉っぱたち」は、夕べからの雨に
濡れてしっとり、人々の心を癒してくれています。
出勤途中に秋の深まりを感じたひとときでした。